



# 天王寺動物園 101計画 アクションプラン1.0一覽表①

番号	計 画 内 容	H 2 8	H 2 9		H 3 0		H 3 1	
		下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
1	計画的に人気動物や希少動物の導入と繁殖に取り組みます	動物導入計画策定	計画に基づいた取組みの強化					
2	野生本来の動物の行動を魅力的に見せる展示を行います	エンリッチメント実施計画策定	エンリッチメントの実践	実施動物種の拡大				
3	動物のトレーニング（ハズバンドリートレーニング）を全園的に推進します	ハズバンドリートレーニング研修受講	ハズバンドリートレーニングの実践	実施動物種の拡大				
4	来園者に動物を近くに感じていただけるような展示を行います	実施手法検討	施設改修が必要なものは順次改修を実施					
5	ふれあいやお客様による餌やりなどの体験・体感ができる活動を強化します	受入人数拡大	新たなプログラムの提供開始 団体向けプログラムの検討					
6	積極的に動物の魅力の発信を行います	掲示物整備計画策定	動物解説板の設置 デザイン等の検討					
7	ボランティア活動を支援します	ボランティア像の確定	既存ボランティアの整理 園窓口体制の検討		支援体制構築、ボランティア育成			
8	季節の大型イベントを企画し、その実施を定例化していきます	季節に応じた期間イベントの定例開催						
9	ミニイベントの企画開発を行い、実施します	翌年度のイベント実施計画の中に、ミニイベントの編入を検討						
10	市民、ボランティア、NPO、地元企業などの協働を進め、多くの人達に支えていただくイベント運営を目指します	企業等との協働イベント数を年間平均20件に増加						



# 天王寺動物園 101計画 アクションプラン1.0一覽表②

番号	計 画 内 容	H 2 8	H 2 9		H 3 0		H 3 1		
		下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
11	歳時記と連動した年間イベント計画を策定します	歳時記と連動したイベントは数年先のものも検討							
12	スポンサーイベントを積極的に推進します	検討・調査 ナイトZOOでの実施検討	営業の継続実施・導入拡大						
13	動物園ホームページをリニューアルし、全ての情報発信の基本ツールとして活用します	H Pリニューアル	幅広く豊富な情報発信の実施						
14	各種メディアからの取材、番組企画、ロケーションについて積極的に受け入れます	取材・ロケ等の積極的な受け入れ							
15	広報ネットワークの拡大に取り組みます	メディアへの積極的な情報配信実施							
16	商業施設等外部との連携による広報の強化を進めます	連携イベントの営業継続・広報連携の拡大							
17	動物関連組織との連携による広報の強化を進めます	京阪神動物園間で 連携イベント実施	連携イベントと連携広報の継続実施						
18	スター候補となる動物について、戦略的かつ積極的なプロモーションを進めます	スター動物選定	スター動物のイベントを定期的実施						
19	園内全体を緑溢れる空間にします	植樹調査	植樹更新計画作成	植樹更新の随時実施					
20	動物園ゲートにワクワク感を醸成する仕掛けを満載します	新世界ゲートにモニュメント設置		ゲートでの記念撮影場所の提供、ICTを活用した情報提供を実施					



# 天王寺動物園 101計画 アクションプラン1.0一覽表③

番号	計 画 内 容	H 2 8		H 2 9		H 3 0		H 3 1	
		下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
21	きれいへの取組みを強化します		巡視体制構築、清掃業務委託内容の強化						
22	園内の美装化に取り組みます	定期チェックによる改善	売店前テーブルベンチ改善						
23	最寄り駅から動物園までのアプローチが快適でワクワク感のある歩行者空間となるよう取り組みます		概略検討		詳細設計		整備工事		
24	園内各所に休憩できる場所を整備します		簡易な休憩スペース設置						
25	子どもの目線や車いす利用者目線からも動物を楽しめるよう、必要な改修を行います	改修箇所のリストアップ		改修工事の実施					
26	園内の案内板を整備するとともに巡回コースを設定します	巡回コースのHP掲載	案内板増設場所の検討		案内板の設置				
27	サービス配置の見直しとしてゲート機能（案内、改札、物販、コインロッカー、車椅子、傘貸出等）を強化します	場所・体制の検討		てんしばゲートに仮設実施					
28	入園チケット販売チャネル拡大を図り、コンビニエンスストアでの販売を実施します	検討・販売開始							
29	オリジナルグッズの開発・販売を積極的に進めます	協働事業協定書の締結		オリジナルフィギュアの販売		スター動物グッズの販売 オリジナルグッズのブランドイメージ形成			
30	年間パスポートを導入します	年間パスポート運用開始							



# 天王寺動物園 101計画 アクションプラン1.0一覽表④

番号	計 画 内 容	H 2 8	H 2 9		H 3 0		H 3 1	
		下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
31	全スタッフがおもてなし意識の向上とホスピタリティの醸成に努めるよう意識改革に取り組みます	FAQ集の作成	部署ごとにCSの取組み実施、CSマニュアル作成					
32	接客に対する定期的な研修を実施する		他施設見学 モニタリング調査実施		モニタリング調査結果を参考に、自主的にCSに関する研修を企画・実施			
33	来園者と接する時間を生み出せるよう仕事内容の棚卸を実施します	業務内容の分析・整理			新業務体制の構築			
34	公園内の他施設（てんしば、美術館、慶沢園など）と連携したイベント等を企画実施します	てんしば連携イベント 慶沢園への誘客検討	継続して連携イベントを企画・実施					
35	近隣の商業施設等と連携したイベントを企画実施するとともに近隣商業施設カードとの連携による入園料割引について検討します		入園料割引規定の設置、近隣施設との連携開始					
36	多言語に対応したホームページを整備します	新HP整備、運用開始						
37	園内での多言語による情報提供を強化します		多言語化ルールの確立		翻訳手法の確立			
38	簡単な挨拶程度を多言語でできるよう、スタッフの研修を行います	外国人来園者接客研修実施						
39	英語、中国語、韓国語に長けたスタッフを採用し配置します。また、通訳や翻訳が行えるボランティアの確保に努めます		ボランティアによる支援 体制検討		体制構築、出改札スタッフの多言語対応化			
40	日本産動物の展示を強化します		日本産動物情報に関する 発信・強化		コウベモグラの追加導入		新規導入種の決定	



# 天王寺動物園 101計画 アクションプラン1.0一覽表⑤

番号	計画内容	H28		H29		H30		H31	
		下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
41	外国人対応の観光ツアー会社や宿泊施設との連携を進めます	▶		▶ 近隣宿泊施設への 広報紙配架依頼					
				▶ 継続して紹介強化、依頼実施					
42	野生動物の保護等についてNPO等との連携を進めます	▶		▶ 個別の組織に対する協議実施		▶ 保護の取組み実施			
43	「私たちの動物園」と思っただけのような参加意識を高めます			▶ 改善事例掲出 個体名入りバッチの提供					
44	物品の寄付など様々な提案を引き受ける窓口を創設します			▶ 寄付の方策検討		▶ 寄付金額1.5倍増			
45	ふるさと寄付金制度を通じた動物園への支援について、広報PRを積極的に展開します			▶ 寄付目的の検討 広報の実施		▶ 寄付実績をHPで報告			
46	市民サポーターの制度について整理・見直しを行い、より安定的に市民からの動物園支援活動を構成できる仕組みを構築します	▶		▶ 新サポーター制度 検討		▶ 新サポーター制度実施			
47	個人に対して寄付を募る新たな方法を模索します	▶		▶ 他園成功事例調査		▶ がバメントクラウドファンディング クラウドファンディングの実施 の対象決定			
48	企業からの寄付や協働事業に係る窓口を設け、協力協働を積極的に推進します	▶		▶ 企業ニーズの把握					
				▶ 新規協働事業締結、協働事業の実施					
49	営業企画の機能を担う体制と担当する職員の能力の強化を図ります			▶		▶ 営業部門の強化 スキルの向上			
50	外周柵、動物舎外壁等に屋外広告を導入します	▶		▶ 園内広告の公募		▶ 園内広告の導入			



# 天王寺動物園 101計画 アクションプラン1.0一覽表⑥

番号	計 画 内 容	H 2 8		H 2 9		H 3 0		H 3 1	
		下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
51	施設に対する協賛、ネーミングライツについても検討します			ネーミングライツ導入可否検討		ネーミングライツ公募			
52	動物飼育管理を担当する職員（飼育員、獣医）が継続的に学ぶ機会を確保します	海外飼育研修							
53	日々の飼育管理の中で得られた技術知見の蓄積を図るとともに、職員間での技術伝承を進めます			勉強会、報告会の定例化		勉強会・報告会の隔月開催			
54	最新の技術情報を収集、保管、共有し、日常の業務に活用できる体制を構築します	情報の電子化		アクセス権取得の調査		新たな管理方法運用開始			
55	飼育動物の個体情報や血統登録情報、飼育記録を収集し、適切な個体の管理、繁殖計画の策定に役立てます	国際血統登録簿の更新		ZIMS使用方法講習会に職員を派遣		データ入力開始、施設間での共有化			
56	コレクション計画について適時更新を行います								
57	高度な検疫体制を確立します			新検疫室改修案立案					
58	国内外の個体群管理計画に積極的に参画します			広域計画のある種は計画に沿って取組み推進		新たな希少種に対する種別管理計画の担当について検討			
59	いくつかの動物においては、人工繁殖技術の適用にも取り組みます	園内での生殖細胞保存拡大		繁殖取組み優先種10種選定		他機関との連携確立			
60	国内外の動物園コミュニティに対して、単に参画するのみならず、リーダーシップを発揮します					JAZAの事業に積極的に関与			



# 天王寺動物園 101計画 アクションプラン1.0一覽表⑦

番号	計画内容	H28	H29		H30		H31	
		下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
61	適正飼育個体数を設定します	施設整備第1期の動物種・個体数設定	アジアカウの適正飼育個体数設定		その他の動物種の適正飼育個体数設定			
62	既存の施設についても、施設の維持管理計画を策定し、適切な飼育環境を確保します		維持管理計画策定 財源確保策検討		維持管理計画に基づく施設改修実施			
63	高齢個体の管理方法を検討し、充実させます	医薬材料、特殊飼料の適宜確保	専門技能の収集開始、施設構造の改善、高齢個体の飼育体制検討					
64	動物倫理規定を策定します		倫理規定案の検討		倫理規定の策定			
65	生息域内保全に対する技術的、人的な支援を進めます	コホウナリの計画に参画	保全繁殖専門グループへの貢献実現					
66	大阪近隣地域における野生動物生息状況を把握するとともに、収集した情報を教育活動等にフィードバックします	大阪生物多様性保全NW専門部会に参画	府下野生生物に関する情報収集		大阪生物多様性保全NW本体への参画			
67	教育プログラムの開発を進めます	府市教員との協働体制を確立	教員と連携した研究会設置 教育事業ポリシー策定		教育事業プログラム開発、教育事業展開 園内パネル作成・掲示			
68	出前授業など、学校や地域での教育活動を推進します	出張スクールの整理			出張スクール用プログラムの拡充 年間実施回数の増加			
69	大学等の研究機関による動物園の活用機会の提供に積極的に取り組みます	連携ルール検討 データベース化開始	連携ルールの情報発信		情報提供を開始し、検体バンクの機能を実施			
70	機関間の協力協定を締結し、組織的かつ継続的に幅広い分野で調査研究が実施できる体制の確立を目指します	府大との協定締結	連携が可能な大学との協定の締結、具体的な研究協力を開始					



# 天王寺動物園 101計画 アクションプラン1.0一覽表⑧

番号	計画内容	H28		H29		H30		H31	
		下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
71	研究成果は動物園にフィードバックし、可能なものは動物園の改善に活かします	研究成果の整理	可能なものから研究成果を公表						
72	業務として調査研究を位置付け、具体的な研究目標を設定した上で、日常の業務の中で必要な情報の収集・蓄積と分析・研究を行い、業務の改善に活かします		調査研究業務の整理	優先的に取組む調査研究課題の設定、成果を業務改善に活用					
73	展示とその効果に関する研究も重点的なテーマとして、園全体で取組みを進めます	展示とメッセージを検討	新しい展示手法を導入、効果の検証方法確立						
74	調査研究に関する能力向上と職員間での情報共有を進めます。また、調査研究に必要な設備・器具、備品等の確保を進めます	海外園館での研修に参加	研究会等に参加し、当園での具体的な研究内容の決定						
75	望ましい運営形態についての検討を行います	業務の機能・役割を整理						委託可能な業務の委託開始	
76	現存施設の光熱水費の削減を図ります	水道使用量の現状分析	井戸水の利用、ESCO事業の導入						
77	将来的な値上げの検討や、有料入園者の対象範囲の拡大について検討します			市民感情等を踏まえ、将来的な値上げ等について検討					
78	動物園運営にふさわしい経営形態について検討を進めます	経営形態検討懇談会の開催	望ましい形態案決定	望ましい経営形態への移行に向けた検討					
79	計画の進捗状況についてお客様目線でのご意見や改善提案をお受けできる仕組みを設けます	点検評価会議参加者の選定方法決定	101計画点検評価会議 開催						
80	評価指標を開発します	新たな評価指標検討	来園者アンケートの内容充実検討 新たな評価指標による評価開始						